

アーキテクト®

トキソプラズマ免疫グロブリンGキット

Toxo-IgG・アボット

## 【一般的な注意】

1. 本製品は体外診断用であり、それ以外の目的に使用しないこと。
2. 診断は、他の関連する検査結果や臨床症状等に基づいて総合的に判断すること。
3. 本書に記載された使用方法に従って使用すること。本書に記載された使用方法および使用目的以外での使用については、測定結果の信頼性は保証しない。
4. 本測定で使用する試薬類には、ヒト由来成分が含まれているものがあり、感染の危険があるので感染性のあるものとして取り扱うこと。詳細は、【形状・構造等（キットの構成）】または【用法・用量（操作方法）】を参照すること。
5. 本測定で使用する試薬類には、保存剤としてアジ化ナトリウムが含まれているものがある。誤って目や口に入れたり皮膚に付着した場合には、水で十分に洗い流す等の応急措置を行い、必要があれば医師の手当て等を受けること。詳細は、【形状・構造等（キットの構成）】または【用法・用量（操作方法）】を参照すること。
6. 使用する機器の電子添文および取扱説明書をよく読んでから使用すること。

## 【形状・構造等（キットの構成）】

- 試薬キット
    - ・ マイクロパーティクル  
トキソプラズマリコンビナント抗原固相化磁性粒子  
（他の含有物：MES 緩衝液、タンパク質安定化剤 保存剤：ProClin 300）
    - ・ コンジュゲート  
アクリジニウム標識抗ヒト IgG マウスモノクローナル抗体  
（他の含有物：MES 緩衝液、タンパク質安定化剤 保存剤：抗菌剤）
    - ・ 検体希釈液  
（他の含有物：TRIS 緩衝液、タンパク質安定化剤 保存剤：ProClin 300）
  - プレトリガー※  
過酸化水素
  - トリガー※  
（主な含有物：水酸化ナトリウム）
- ※ プレトリガー、トリガーは AFP・アボット（承認番号 22300AMX01224000）で承認された構成品を共通試薬として用います。ARCHITECT アナライザー用をご使用ください。別売りのため弊社にお問い合わせください。

## 【使用目的】

血清又は血漿中のトキソプラズマ抗体（IgG 型）の検出  
（トキソプラズマ感染の診断の補助）

## 【測定原理】

化学発光免疫測定法（CLIA 法）

## 【操作上の注意】

## (1) 測定試料の性質、採取法

## 検体種

本キットでは次の検体を使用すること。

| 検体種  | 採血管                                                                   |
|------|-----------------------------------------------------------------------|
| ヒト血清 | 血清<br>血清分離剤入り                                                         |
| ヒト血漿 | ヘパリンリチウム（血漿分離剤入り）<br>EDTA カリウム塩<br>クエン酸ナトリウム<br>ヘパリンリチウム<br>ヘパリンナトリウム |

- ・ 他の種類の採血管は、本キットで使用できることを確認していない。
- ・ ヒト血清や血漿以外の体液における本キットの性能は確立されていない。
- ・ 液状の抗凝固剤を使用している場合、検体が希釈されることで測定結果が低めになる可能性がある。
- ・ 機器は、検体の種類を区別する機能を持たないので、測定の際には、検体が本書に記載されている種類の検体であることを確認すること。

## 検体の条件

- ・ 次の検体は使用しないこと。
  - ・ 加熱して不活化した検体
  - ・ プールした検体
  - ・ 著しく溶血した検体（ヘモグロビン > 500 mg/dL）
  - ・ 明らかに微生物汚染が認められる検体
- ・ 正確な測定結果を得るため、血清および血漿検体にはフィブリン、赤血球、その他の不溶物が含まれていないことを確認すること。抗凝固剤や血栓溶解剤による治療を受けている患者の血清検体は、血餅が完全に分離していないためフィブリンが含まれている可能性がある。
- ・ 検体間の汚染を避けるため、使い捨てのピペットまたはピペットチップを使用すること。
- ・ すべてのサンプル（キャリブレータ、コントロール、検体）は、機器にセットしてから 3 時間以内に測定すること。

## 検体の調製

- ・ 採血管の使用に際しては、採血管の製造元の取扱説明書に従うこと。静置により血球成分等を分離しただけでは、検体として使用するには不十分である。
- ・ 凍結融解した検体は、低速のボルテックスミキサーを用いるか、10 回転倒することにより十分に混和する。検体を目視で確認し、層状になっている場合には、均一になるまで混和を繰り返す。
- ・ 正確な測定結果を得るため、次の検体は遠心管へ移し、測定前に  $\geq 10\,000$  RCF（相対遠心力）で 10 分間遠心分離をすること。
  - ・ フィブリン、赤血球、その他の不溶物を含む検体
  - ・ 再測定を要する検体
  - ・ 凍結融解した検体澄明な検体を、サンプルカップまたは試験管等に移し測定に用いる。
- ・ 遠心分離後、上層に脂質層が認められる検体は、サンプルカップまたは試験管等に分取する。分取する際は、脂質を含まない澄明な検体のみを分取するように注意すること。
- ・ すべての検体について泡の有無を確認すること。測定前に綿棒等で泡を取り除くこと。検体間の汚染を避けるため、検体ごとに新しい綿棒を使用すること。

## 検体の保存条件

| ** | 検体種     | 温度       | 最長保存期間 | その他                               |
|----|---------|----------|--------|-----------------------------------|
|    | 血清 / 血漿 | 15 ～ 30℃ | 3 日間   | 検体は、血餅、赤血球、分離剤の有無に関わらず保存することができる。 |
|    |         | 2 ～ 8℃   | 14 日間  | 検体は、血餅、赤血球、分離剤の有無に関わらず保存することができる。 |
|    |         | -10℃以下   | 28 日間  | 血清または血漿から血餅、赤血球、分離剤を除去すること。       |

- \*\* ・ 6 回を超える凍結融解の繰り返しは避けること。

## 検体の輸送条件

- ・ 臨床検体および感染性物質に対応した包装、表示を行うこと。
- ・ 検体の保存条件に従うこと。

## (2) 妨害物質・妨害薬剤

## 干渉物質

ビリルビン（20 mg/dL）、トリグリセライド（3000 mg/dL）、タンパク質（12 g/dL）、赤血球（0.4% v/v）、ヘモグロビン（500 mg/dL）を含む陰性検体、陽性検体を測定して各対照検体と比べたところ、測定結果への影響は見られなかった。

- \*\* 注：本キットはビオチン化抗体を使用していないため、潜在的リスクという点で、検体中のビオチン（ビタミン B7）が測定結果に影響を与える可能性はない。

## 臨床状態

本キットの測定に影響を与える可能性のある臨床状態の検討を行った。本キット、市販の測定キットのいずれも結果がグレーゾーンとなった検体 8 例については、一致率の算出から除外した。

| 本キットと市販の測定キットとの |    |       |
|-----------------|----|-------|
| 物質              | N  | 一致率※  |
| 抗核抗体            | 8  | 100 % |
| サイトメガロウイルス      | 10 | 100 % |
| EB ウイルス         | 10 | 100 % |
| インフルエンザワクチン     | 10 | 90 %  |
| HAMA            | 10 | 100 % |
| 単純疱疹ウイルス 1 型    | 10 | 80 %  |
| 単純疱疹ウイルス 2 型    | 9  | 100 % |
| 高 IgG 血症        | 9  | 100 % |
| 高 IgM 血症        | 10 | 100 % |
| 麻疹              | 10 | 100 % |
| パルボウイルス B19     | 10 | 100 % |
| リウマチ因子          | 10 | 100 % |
| 風疹              | 8  | 100 % |
| 梅毒              | 10 | 100 % |
| 水痘帯状疱疹ウイルス      | 8  | 100 % |
| 抗 ds DNA 抗体     | 7  | 100 % |
| モノクローナル IgG     | 10 | 90 %  |
| モノクローナル IgM     | 9  | 100 % |

※ ここに示したデータは代表的な例であり、各施設では異なる結果を示す場合がある。

市販の測定キット、Sabin-Feldman 色素試験、HS 凝集法、市販のプロット法により乖離検体の追加試験を行った結果、単純疱疹ウイルス 1 型の乖離検体 2 例、モノクローナル IgG の乖離検体 1 例については、本キットの結果と一致していることを確認した。

### (3) その他

本キットは、ARCHITECT アナライザーおよび TBA 免疫測定オプションの試薬である。詳細は、弊社にお問い合わせください。

## 【用法・用量（操作方法）】

### (1) 試薬の調製方法

各試薬はそのまま用いる。

### (2) 必要な器具・器材・試料等

- 本キット用アッセイファイル
  - ARCHITECT Toxo-IgG・キャリブレーションプレート（ARCHITECT Toxo IgG Calibrators）（製品番号：6C19-02）：4.0 mL × 6（保存剤：ProClin 300、アジ化ナトリウム）
- キャリブレーションプレート A は IgG 型トキソプラズマ抗体陰性、キャリブレーションプレート B ～ F は IgG 型トキソプラズマ抗体陽性である。

|               | 濃度      |
|---------------|---------|
| キャリブレーションプレート | (IU/mL) |
| A             | 0.0     |
| B             | 5.0     |
| C             | 25.0    |
| D             | 50.0    |
| E             | 100.0   |
| F             | 200.0   |

※※ 測定の不確かさを国際標準化機構（ISO：International Organization for Standardization）の測定における不確かさの表現のガイド（GUM：Guide to the Expression of Uncertainty in Measurement）および Eurachem Guide for Quantifying Uncertainty in Analytical Measurement（Eurachem/CITAC Guide）に基づいて算出した<sup>1, 2</sup>。

以下に示したキャリブレーションプレートの拡張不確かさの推定値は典型的な値であり、高次の基準物質の不確かさ（利用可能な場合）と併せて使用することにより、測定結果の全体的な不確かさを算出することができる。

| キャリブレーションプレート | 拡張不確かさ（k = 2） |  |
|---------------|---------------|--|
|               | IU/mL         |  |
| A             | 適用外           |  |
| B             | 5.0 ± 0.160   |  |
| C             | 25.0 ± 0.762  |  |
| D             | 50.0 ± 1.623  |  |
| E             | 100.0 ± 2.765 |  |
| F             | 200.0 ± 9.181 |  |

- ARCHITECT Toxo-IgG・コントロール（ARCHITECT Toxo IgG Controls）（製品番号：6C19-12）：8.0 mL × 3（主な含有物：カルシウム処理ヒト血漿（陰性コントロール） 保存剤 ProClin 300 または ProClin 950、アジ化ナトリウム）
- 陽性コントロールは IgG 型トキソプラズマ抗体陽性である。

| コントロール     | 色   | 濃度 (IU/mL) | 管理範囲 (IU/mL) |
|------------|-----|------------|--------------|
| 陰性コントロール   | 無着色 | N/A        | ≤ 0.5        |
| 陽性コントロール 1 | 無着色 | 6.0        | 3.0 ～ 9.0    |
| 陽性コントロール 2 | 無着色 | 120.0      | 60.0 ～ 180.0 |

- 濃縮希釈緩衝液（主な含有物：リン酸緩衝液、塩化ナトリウム 保存剤：抗菌剤、アジ化ナトリウム）
  - 反応セル
  - サンプルカップ
  - 試薬ボトル用中蓋
  - 試薬ボトル用キャップ
  - 分注用ピペットまたはピペットチップ（オプション）
- メンテナンスに必要な器具等については、使用する機器の取扱説明書を参照すること。

### (3) 測定（操作）法

- キャリブレーションプレート（別売品）をインキュベートする。検体の場合は、検体と希釈した濃縮希釈緩衝液（別売品）を 1：7 の割合で使用し、インキュベートする。
- 1) の液、検体希釈液、マイクロパーティクル、コンジュゲートを 1：9：5：5 の割合で使用し、以下の通り反応させる。
  - 1) の液に検体希釈液、マイクロパーティクルを加え、反応させる。
  - 未反応物を除去後、コンジュゲートを加え、反応させる。
- 未反応物を除去後、プレトリガー 100 μL を加え、反応させる。
- トリガー 300 μL を加え、反応生成物の発光（波長約 400 ～ 500 nm）の発光強度を測定する。
- キャリブレーションプレートの発光強度から IgG 型トキソプラズマ抗体の濃度が求められ、装置のメモリーに記憶される。
- 検体についても発光強度が測定され、装置のメモリーに記憶されている検量線によって、検体中の IgG 型トキソプラズマ抗体の濃度を求め、判定基準と照合し判定する。

### (参考) 機器側から見た操作法

#### 1. 測定機器の操作法

使用する機器により次のアッセイファイルが必要である。

| 機器                    | アッセイファイル               | CD-ROM 製品番号              | CD-ROM バージョン   |
|-----------------------|------------------------|--------------------------|----------------|
| ARCHITECT アナライザー      | Toxo IgG               | 1P61-03 以降               | 3.0 以降         |
| i1000SR               | Toxo IgG R             | 1P61-04 以降               | 4.0 以降         |
| その他の ARCHITECT アナライザー | Toxo IgG<br>Toxo IgG R | 6E59-29 以降<br>6E59-29 以降 | 29 以降<br>29 以降 |

- 初めて測定を行う前に、本キット用アッセイファイルを機器にインストールすること。
- アッセイファイルのインストール方法およびアッセイパラメータの表示、変更方法の詳細については、使用する機器の取扱説明書を参照すること。
- 次のアッセイファイルが使用可能である：
  - “Toxo IgG” - 検体の IgG 型トキソプラズマ抗体濃度が 200 IU/mL を超えた場合も、自動希釈再測定は行わない。
  - “Toxo IgG R” - 検体の IgG 型トキソプラズマ抗体濃度が 200 IU/mL を超えた場合は、自動的に希釈再測定が行われる。再測定の設定を変更する場合は、「結果の範囲」の最大値“2000.0”を削除する。
- アッセイパラメータの印刷については、使用する機器の取扱説明書を参照すること。
- 機器の操作に関する詳細については、使用する機器の取扱説明書を参照すること。

#### 2. 測定法

- コントロールの測定値が管理範囲を外れている場合、試薬が劣化しているか、操作に誤りがある可能性がある。得られた測定結果は無効とし、再測定を行うこと。必要に応じて再キャリブレーションを行うこと。トラブルシューティングについては、使用する機器の取扱説明書を参照すること。
- 機器にマイクロパーティクルを初めてセットする場合は、輸送中に沈殿している可能性のある粒子をあらかじめ再懸濁する必要がある。その後の測定においては、さらに混和する必要はない。
  - マイクロパーティクルのボトルを 30 回転倒混和する。
  - マイクロパーティクルが再懸濁されていることを肉眼で確認する。マイクロパーティクルがボトルに付着している場合は、完全に再懸濁されるまでボトルを転倒混和する。
  - マイクロパーティクルが再懸濁されない場合、使用せずに弊社へご連絡ください。
  - マイクロパーティクルが再懸濁されたら、キャップを廃棄して中蓋をボトルに取り付ける。中蓋の取り付けけ方法については、【使用上又は取扱上の注意】(2) 使用上の注意を参照すること。
- 使用する機器に試薬キットをセットする。
  - 測定に必要な試薬がすべてセットされていることを確認する。
  - すべての試薬ボトルに、中蓋が取り付けられていることを確認する。
- 必要に応じて、キャリブレーションをオーダーする。
  - キャリブレーションのオーダー方法については、使用する機器の取扱説明書を参照すること。
- 測定をオーダーする。
  - 検体およびコントロールのオーダー方法、一般的な機器の操作法については、使用する機器の取扱説明書を参照すること。
- サンプルカップを使用した測定に必要な最少サンプル量は、機器により計算され、オーダーリポートに印刷される。蒸発濃縮の影響を最小限にするため、測定開始前にサンプルカップに適切な量のサンプルが入っていることを確認すること。同一サンプルカップでの最大多重測定回数：10 回
  - 分注後、直ちに測定する場合：
    - 初回測定に必要なサンプル量：75 μL
    - 同じサンプルカップで追加測定する場合に必要なサンプル量：25 μL

- ・機器にセット後、3時間以内に測定する場合：
  - 初回測定に必要なサンプル量：150 µL
  - 同じサンプルカップで追加測定する場合に必要なサンプル量：25 µL
- ・機器にセット後、3時間を超えて測定する場合：追加のサンプル量が必要。サンプルの蒸発濃縮およびサンプル量については、使用する機器の取扱説明書を参照すること。
- ・元検体チューブまたは予検体チューブを使用する場合、サンプルゲージを用いて検体量が十分であることを確認する。
- ・キャリブレーションおよびコントロールを準備する。
  - ・キャリブレーションおよびコントロールは、使用前に穏やかに転倒混和すること。
  - ・ボトルを垂直にして、各サンプルカップにそれぞれの必要量を滴下する。
  - ・必要量：
    - 各キャリブレーション：6 滴
    - 各コントロール：4 滴
- ・サンプルをセットする。
  - ・サンプルのセットについては、使用する機器の取扱説明書を参照すること。
- ・測定を開始する。
- ・測定原理については、使用する機器の取扱説明書を参照すること。
- ・正しい測定結果を得るために、使用する機器の取扱説明書に従って日常的なメンテナンスを行うこと。施設の規定がより頻繁なメンテナンスを定めている場合、当該施設の手順に従うこと。

### 3. 検体の希釈

濃度が 200.0 IU/mL を超える検体は、“> 200.0 IU/mL”のフラグが表示される。この検体については自動希釈を用いて希釈測定することができる。

#### 自動希釈

- ・検体は 10 倍に希釈測定される。希釈前の検体濃度が自動的に算出され、測定結果として報告される。
  - ・アッセイファイル“Toxo IgG R”を使用して測定した場合、“> 200.0 IU/mL”のフラグが表示された検体は自動的に 10 倍希釈で再測定される。
- 希釈オーダーについての詳細は、使用する機器の取扱説明書を参照すること。

### 4. キャリブレーション

- ・キャリブレーション A ～ F を各々 2 重測定する。キャリブレーションは分注後、直ちに測定すること。
- ・全濃度のコントロールを各 1 回測定し、キャリブレーションを評価すること。コントロールの測定値が、本書に記載されている管理範囲に入っていることを確認する。
- ・キャリブレーション範囲：0 ～ 200.0 IU/mL
- ・一度、規格を満たしたキャリブレーションの結果が機器に保存されると、その後は測定ごとにキャリブレーションを行う必要はないが、次の場合には再キャリブレーションを行う。
  - ・新しいロット番号の試薬キットを使用する場合
  - ・コントロールの測定結果が管理範囲を外れている場合
- ・30 日ごとにキャリブレーションを行うこと。
- ・キャリブレーションについての詳細は、使用する機器の取扱説明書を参照すること。

### 5. 品質管理方法

- ・本キットの各測定日(24 時間)ごとに、全濃度のコントロールを各 1 回測定すること。施設の精度管理手順が、より頻繁にコントロールを測定することを定めている場合、当該施設の手順に従うこと。
- ・コントロールの測定値が本書に記載されている管理範囲に入っていることを確認する。管理範囲を外れている場合、得られた測定結果は無効とし、再測定を行うこと。必要に応じて再キャリブレーションを行うこと。

### 6. 結果

本キットでは、4PLC 法（4 Parameter Logistic Curve fit、Y-weighted）を用いてキャリブレーションカーブが作成される。

#### 計算

機器は、キャリブレーション A ～ F を 2 重測定し、発光強度の平均値を算出してキャリブレーションカーブを作成し結果として保存する。本キットにおける測定結果の単位の初期設定は IU/mL である。

#### フラグ

測定結果によってはフラグ欄にフラグが表示される場合がある。この欄に表示される可能性のあるフラグについては、使用する機器の取扱説明書を参照すること。

### 【測定結果の判定法】

| 濃度               | 判定     | 再検査の判定                                                                                                                        |
|------------------|--------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| < 1.6 IU/mL      | 陰性     | 患者は、トキソプラズマ感染歴が無いと推定され、今後初感染する可能性がある。検査結果が陰性であっても、トキソプラズマ感染の可能性を否定することはできない。測定結果が陰性でも感染初期の疑いがある患者においては、3 週間後に再測定を必要とする可能性がある。 |
| 1.6 ～< 3.0 IU/mL | グレーゾーン | IgG の測定値が低い検体はグレーゾーンと判定する。IgM 型トキソプラズマ抗体の測定を行う、または本キットで妥当な期間（例：2 週間）内に再度サンプルを採取し再検査を行うべきである。                                  |

| 濃度          | 判定 | 再検査の判定                                                         |
|-------------|----|----------------------------------------------------------------|
| ≥ 3.0 IU/mL | 陽性 | 検体は IgG 型トキソプラズマ抗体陽性と判定され、患者は過去にトキソプラズマ感染歴があるか、急性感染症であると推定される。 |

IgG 型トキソプラズマ抗体の保有率は、年齢、地域により異なる。妊婦検体 1270 例、無作為検体 1297 例を測定して検討を行った。本キットで測定を行ったところ、1115 例（43.4%）が陽性、83 例（3.2%）がグレーゾーン、1369 例（53.3%）が陰性であった。（当社データによる）

### 判定上の注意

- ・判定結果が陰性であっても、ウィンドウ・ピリオド（感染後抗体が検出できる量までになる期間）及び免疫機能低下により抗体産生能が低下している場合があるので注意すること。
- ・自己免疫疾患患者の検体では免疫反応の場合、非特異的反応が起こりうるので測定結果に基づく診断は他の検査や臨床症状等を考慮して総合的に判断すること。
- ・本キットの測定結果が臨床所見に矛盾する場合、追加の測定を行い測定結果を確認することを推奨する。
- \*\*\* 診断を行うにあたっては、本キットの測定結果のみでなく、他の検査結果（IgM 型トキソプラズマ抗体、トキソプラズマ IgG 抗体アビディティー）、臨床所見などと合わせて総合的に判断すること。
- ・ヒト血清中の異好性抗体は、試薬中の免疫グロブリンに反応し、*in vitro* のイムノアッセイに影響を与えることがある。日常的に動物または動物血清由来製品にさらされる患者では、このような干渉を受ける場合があり、正しい測定値が得られない可能性がある。診断を行うにあたっては、他の情報が必要となることがある<sup>3</sup>。
- ・マウスモノクローナル抗体を用いた製剤による診断および治療を受けた患者の検体中には、HAMA（Human Anti-Mouse Antibodies：抗マウスヒト抗体）が含まれている可能性がある。HAMA を含む検体をマウスモノクローナル抗体を用いたキットで測定した場合、正しい測定値が得られない可能性がある。診断を行うにあたっては、他の情報が必要となることがある<sup>4, 5</sup>。本キットには HAMA の影響を抑える物質が含まれている。
- ・測定値のキット間差：測定値は、測定法、較正用の基準物質によって異なる可能性があり、他の測定キットと必ずしも同じ値を示すとは限らない。注：キャリブレーションは、World Health Organization (WHO) First International Standard (01/600) に基づいて調製されている<sup>6</sup>。
- ・IgG 型トキソプラズマ抗体は、すべてのサンプルで希釈直線性を示すとは限らない。同じ患者から日をえて採取した検体を測定する場合は、異なる希釈タイプを使用しないこと。

### 【性 能】

#### (1) 正確性・再現性

本キットの総再現性※※は、濃度が 3.0 ～ 120.0 IU/mL のサンプルにおいて、CV10%未満である。再現性は社内 1 施設および外部 1 施設（フランス）において、各 1 台の機器、3 ロットのコントロールおよび 1 例のヒト血漿検体からなるパネルを用いて検討した。各パネルを、3 ロットの試薬、2 ロットのキャリブレーション、各施設 1 台の機器を用いて 4 重測定した。機器、パネル、試薬ロットの各組み合わせを 4 回測定した。主な結果を次に示す※。

| パネル        | n   | 平均値<br>(IU/mL) | 測定内再現性 |      | 総再現性※※ |      |
|------------|-----|----------------|--------|------|--------|------|
|            |     | SD             | CV (%) | SD   | CV (%) | SD   |
| 陰性コントロール   | 576 | 0.1            | 0.03   | N/A  | 0.03   | N/A  |
| 陽性コントロール 1 | 576 | 6.4            | 0.14   | 2.17 | 0.16   | 2.55 |
| 陽性コントロール 2 | 576 | 119.2          | 3.69   | 3.10 | 4.74   | 3.98 |
| ヒト検体       | 192 | 3.3            | 0.09   | 2.74 | 0.10   | 3.10 |

※ ここに示したデータは代表的な例であり、各施設では異なる結果を示す場合がある。

※※ 総再現性には、測定内再現性、測定間再現性、日差再現性が含まれる。

#### \*\*\* 施設内精度

検討は CLSI ガイドライン EP05-A3 に従って行った<sup>7</sup>。各 1 ロットの試薬、キャリブレーション、コントロールを使用して、機器 1 台で検討を行った。3 例のコントロールおよび 4 例のヒト血漿パネルを 20 日間に渡り 1 日 2 回、少なくとも 2 重測定した。主な結果を次に示す※。

| パネル        | n   | 平均値<br>(IU/mL) | 測定内再現性<br>(併行精度) |        | 施設内再現性<br>(総再現性) <sup>a</sup> |        |
|------------|-----|----------------|------------------|--------|-------------------------------|--------|
|            |     |                | SD               | CV (%) | SD                            | CV (%) |
| 陰性コントロール   | 160 | 0.0            | 0.02             | N/A    | 0.02                          | N/A    |
| 陽性コントロール 1 | 160 | 6.3            | 0.16             | 2.6    | 0.17                          | 2.7    |
| 陽性コントロール 2 | 160 | 116.0          | 3.93             | 3.4    | 4.19                          | 3.6    |
| パネル 1      | 159 | 1.5            | 0.06             | 3.9    | 0.06                          | 4.3    |
| パネル 2      | 160 | 4.0            | 0.13             | 3.2    | 0.14                          | 3.6    |
| パネル 3      | 160 | 77.9           | 2.35             | 3.0    | 2.45                          | 3.1    |
| パネル 4      | 160 | 168.2          | 7.47             | 4.4    | 8.04                          | 4.8    |

a 測定内再現性、測定間再現性、日差再現性を含む。

※ ここに示したデータは代表的な例であり、各施設では異なる結果を示す場合がある。

※※ 再現性（Reproducibility）

検討は CLSI ガイドライン EP05-A3 に従って行った<sup>7</sup>。各 1 ロットの試薬、キャリブレータ、コントロールを使用して、機器 3 台で検討を行った。各機器は異なる測定者が操作し、各測定者は測定サンプルの準備をそれぞれ行った。3 例のコントロール、4 例のヒト血漿パネルを 5 日間に渡り 1 日 2 回、少なくとも 3 重測定した。主な結果を次に示す※。

| パネル        | n   | 平均値     |       | 併行精度 |        | 施設内再現性 <sup>a</sup> |        | 再現性 <sup>b</sup> |        |
|------------|-----|---------|-------|------|--------|---------------------|--------|------------------|--------|
|            |     | (IU/mL) |       | SD   | CV (%) | SD                  | CV (%) | SD               | CV (%) |
| 陰性コントロール   | 119 | 0.0     | 0.03  | N/A  | 0.03   | N/A                 | 0.03   | N/A              |        |
| 陽性コントロール 1 | 119 | 6.3     | 0.16  | 2.5  | 0.21   | 3.4                 | 0.26   | 4.1              |        |
| 陽性コントロール 2 | 120 | 117.4   | 4.73  | 4.0  | 5.07   | 4.3                 | 5.18   | 4.4              |        |
| パネル 1      | 120 | 1.5     | 0.06  | 3.9  | 0.06   | 4.3                 | 0.10   | 6.6              |        |
| パネル 2      | 120 | 4.1     | 0.14  | 3.4  | 0.16   | 3.9                 | 0.22   | 5.3              |        |
| パネル 3      | 120 | 76.8    | 3.26  | 4.2  | 3.67   | 4.8                 | 3.78   | 4.9              |        |
| パネル 4      | 119 | 173.9   | 10.43 | 6.0  | 11.36  | 6.5                 | 12.79  | 7.4              |        |

a 併行精度（測定内再現性）、測定間再現性、日差再現性を含む。  
b 併行精度（測定内再現性）、測定間再現性、日差再現性、機器間再現性を含む。  
※ ここに示したデータは代表的な例であり、各施設では異なる結果を示す場合がある。

※※ (2) 最小検出感度

検討は CLSI ガイドライン EP17-A2 に従って行った<sup>8</sup>。3 ロットの試薬に対して各 2 台の機器を使用し、3 日間以上に渡り検討を行った。LoB、LoD、LoQ の最大値を以下に示す。

|                  | IU/mL |
|------------------|-------|
| LoB <sup>a</sup> | 0.1   |
| LoD <sup>b</sup> | 0.2   |
| LoQ <sup>c</sup> | 0.2   |

a LoB は濃度ゼロのサンプルを 60 回以上測定したときの、95 パーセンタイルに相当する濃度である。  
b LoD は低濃度サンプルを 60 回以上測定したときに、95% の信頼度で検出できる最小濃度である。  
c LoQ は低濃度サンプルを 60 回以上測定して算出し、再現性において CV 20% を満たす最小濃度とした。

(3) 追加試験後の感度、特異性および相対一致率

追加試験を行い陰性または陽性に分類した妊婦検体、診断目的 / 入院患者検体、供血者検体 2464 例について、感度、特異性および相対一致率を算出した。  
追加試験において本キット、EIA 法キット A、他の Toxo 測定キットのいずれかでグレーゾーンを示した 103 例は、これら感度、特異性および相対一致率の算出から除外した。

追加試験後の感度

検体 2464 例のうち 1099 例が陽性に分類され、本キットでは 1096 例が陽性、3 例が陰性であった。追加試験後の感度は、99.7%（1096/1099）、95% 信頼区間は 99.2 ～ 99.9% であった。

追加試験後の特異性

検体 2464 例のうち 1365 例が陰性に分類され、本キットでは 1359 例が陰性、6 例が陽性であった。追加試験後の特異性は、99.6%（1359/1365）、95% 信頼区間は 99.0 ～ 99.8% であった。

相対一致率

2464 例のうち 12 例で本キットと EIA 法キット A の測定結果の不一致が認められ、相対一致率は 99.5%（2452/2464）、95% 信頼区間は 99.2 ～ 99.7% であった。

|            | 本キット |      |      |
|------------|------|------|------|
|            | 陽性   | 陰性   | 計    |
| EIA 法キット A | 陽性   | 1094 | 4 ※※ |
|            | 陰性   | 8 ※  | 1358 |
|            | 計    | 1102 | 1362 |

※ 本キット陽性、EIA 法キット A 陰性の 8 例中 2 例は市販の Sabin-Feldman 色素試験および HS 凝集試験で測定したところ陽性を示した。本キット陽性、EIA 法キット A 陰性の 8 例中 6 例は市販の Sabin-Feldman 色素試験および HS 凝集試験で測定したところ陰性を示した。これら未確定の 6 例中 4 例は市販のプロット法 GRA8（p35）で陽性を示した。  
※※ EIA 法キット A 陽性、本キット陰性の 4 例中、追加試験で 3 例は陽性を示したが、1 例は確認できなかった。

(4) 実効感度

本キットの実効感度（CV20% の 95% 信頼限界）は、1.6 IU/mL 未満である。  
7 例のヒト血清パネル（IgG 型トキソプラズマ抗体濃度 0.5 ～ 3.3 IU/mL）、陰性コントロール、陽性コントロール 1 を 3 ロットの試薬、1 ロットのキャリブレータ、1 ロットのコントロールを用いて 5 日間以上に渡り検討した。実効感度は、0.03 ～ 0.25 IU/mL であった。

(5) セロコンバージョンパネルの感度

12 例のセロコンバージョンパネルについて、採血 50 回分の検体を測定した。本キットのセロコンバージョンパネルに対する感度は EIA 法キット A と同等であった。  
急性感染の場合、本キットの IgG 型トキソプラズマ抗体濃度は日数の経過とともに顕著に上昇する。結果を次に示す※。

| サンプル ID  | 陰性を示した最終採血後の経過月数 | 本キット<br>[IU/mL] | EIA 法<br>キット A<br>[IU/mL] | Sabin-Feldman<br>色素試験<br>[IU/mL] | HS 凝集法<br>[IU/mL] | Isaga<br>(Toxo-M)<br>[Index] |
|----------|------------------|-----------------|---------------------------|----------------------------------|-------------------|------------------------------|
|          |                  |                 |                           |                                  |                   |                              |
| グレーゾーン   |                  | 1.6 - 2.9       | 2.0 - 2.9                 |                                  | 1                 | 6 - 8                        |
| 陽性カットオフ値 |                  | 3.0             | 3.0                       | 2                                | 2                 | 9                            |
| 00006220 | 0.0              | 0.3             | 0                         | N/A                              | N/A               | N/A                          |
| 00006221 | 0.5              | 2.3             | 5.4                       | N/A                              | N/A               | N/A                          |
| 00006222 | 1.4              | 65.7            | 183.4                     | N/A                              | N/A               | N/A                          |
| 00006223 | 1.5              | 86.6            | 301.6                     | N/A                              | N/A               | N/A                          |
| 00006224 | 1.7              | 107.1           | 447.1                     | N/A                              | N/A               | N/A                          |
| 00006225 | 1.7              | 102.4           | 421.3                     | N/A                              | N/A               | N/A                          |
| 00006226 | 1.9              | 118.5           | 468.4                     | N/A                              | N/A               | N/A                          |
| 00006227 | 2.0              | 125.1           | 447.2                     | N/A                              | N/A               | N/A                          |
| 00006228 | 2.2              | 143.4           | 612.8                     | N/A                              | N/A               | N/A                          |
| 00006229 | 2.4              | 128.5           | 572.6                     | N/A                              | N/A               | N/A                          |
| 00006230 | 2.4              | 125.9           | 491.1                     | N/A                              | N/A               | N/A                          |
| 00006231 | 2.8              | 113.3           | 375.7                     | N/A                              | N/A               | N/A                          |
| 00006232 | 3.1              | 112.8           | 277.6                     | N/A                              | N/A               | N/A                          |
| 00006233 | 3.4              | 107.0           | 280.5                     | N/A                              | N/A               | N/A                          |
| 00006234 | 4.3              | 144.3           | 328.5                     | N/A                              | N/A               | N/A                          |
| 29944022 | 0.0              | 0.8             | 0.3                       | < 2                              | < 1               | 0                            |
| 29944023 | 1.1              | 5.0             | 19.4                      | 40                               | 8                 | 12                           |
| 29944024 | 1.4              | 18.7            | 54.8                      | 200                              | 16                | 12                           |
| 29944025 | 1.7              | 21.9            | 60.8                      | 400                              | 32                | 12                           |
| 29944029 | 0.0              | 0.6             | 0.4                       | < 2                              | < 1               | 0                            |
| 29944030 | 1.2              | 6.8             | 7.6                       | 10                               | 2                 | 12                           |
| 29944031 | 0.0              | 0.4             | 0.4                       | < 2                              | < 1               | 0                            |
| 29944032 | 2.1              | 172.6           | 482.2                     | 1600                             | 200               | 12                           |
| 29944033 | 4.1              | 141.2           | 466.5                     | 1600                             | 400               | 12                           |
| 29944034 | 8.4              | 39.6            | 84.8                      | 400                              | 50                | 12                           |
| 29944035 | 0.0              | 0.4             | 0.1                       | < 2                              | < 1               | 0                            |
| 29944036 | 2.3              | 1.6             | 2.3                       | 5                                | 1                 | 12                           |
| 29944037 | 2.4              | 5.8             | 6.7                       | 10                               | 1                 | 12                           |
| 29944038 | 0.0              | 0.4             | 0.1                       | < 2                              | < 1               | 0                            |
| 29944039 | 1.0              | 9.1             | 9.9                       | 10                               | 2                 | 12                           |
| 29944040 | 0.0              | 0.3             | 0.3                       | < 2                              | < 1               | 0                            |
| 29944041 | 1.6              | 15.1            | 21.8                      | 40                               | 16                | 12                           |
| 29944042 | 11.8             | 21.9            | 28.1                      | 80                               | 32                | 12                           |
| 29944043 | 0.0              | 0.5             | 0.4                       | < 2                              | < 1               | 0                            |
| 29944044 | 1.5              | 3.2             | 2.9                       | 10                               | 1                 | 11                           |
| 29944045 | 1.8              | 9.4             | 10.1                      | 20                               | 2                 | 11                           |
| 00006214 | 0.0              | 0.8             | 0.4                       | < 2                              | < 1               | 0                            |
| 00006215 | 3.5              | 46.3            | 140.9                     | 400                              | 200               | 12                           |
| 00006216 | 4.2              | 125.2           | 342.9                     | 1600                             | 400               | 12                           |
| 00006217 | 0.0              | 0.5             | 0.2                       | < 2                              | < 1               | 0                            |
| 00006218 | 3.2              | 28.4            | 38.1                      | 100                              | 16                | 12                           |
| 00006219 | 7.0              | 20.3            | 18.6                      | 100                              | 100               | 12                           |

※ ここに示したデータは代表的な例であり、各施設では異なる結果を示す場合がある。

(6) 相関性試験成績及び較正用の基準物質

1. 相関性試験成績

2 種類の測定法との一致率の検討を、147 例の血清サンプルを用いて行った。  
グレーゾーンの測定結果を除いた、A 社キット（CLEIA 法）との全体一致率は 99%（142/143）であった。陽性一致率は 98%（58/59）、陰性一致率は 100%（84/84）であった。

|      | A 社キット（CLEIA 法） |     | 全体  |
|------|-----------------|-----|-----|
|      | 陽性              | 陰性  |     |
| 本キット | 陽性              | 0   | 58  |
|      | 陰性              | 1 ※ | 85  |
| 計    | 59              | 84  | 143 |

※ イムノプロット法による追加試験の結果は陽性であった。

グレーゾーンの測定結果を除いた、B 社キット（ELISA 法）との全体一致率は 99%（142/143）であった。陽性一致率は 98%（58/59）、陰性一致率は 100%（84/84）であった。

|      |    | B 社キット（ELISA 法） |    | 全体  |
|------|----|-----------------|----|-----|
|      |    | 陽性              | 陰性 |     |
| 本キット | 陽性 | 58              | 0  | 58  |
|      | 陰性 | 1 ※             | 84 | 85  |
| 計    |    | 59              | 84 | 143 |

※ イムノブロット法による追加試験の結果は陽性であった。

ここに示したデータは代表的な例であり、各施設では異なる結果を示す場合がある。

## 2. 校正用の基準物質

※※ キャリブレーション、コントロールの濃度は、World Health Organization（WHO）First International Standard（01/600）に基づいている。

### 【使用上又は取扱い上の注意】

#### （1）取扱い上（危険防止）の注意

・本キットの測定では、ヒト検体を取り扱う。検体は、HIV、HBV、HCV 等の感染の恐れがあるものとして取り扱うこと。検査にあたっては、感染の危険を避けるため、専用の着衣、眼鏡、マスクおよび使い捨て手袋を着用し、また口によるピペッティングは行わないこと。

※※ ・**注意**：本測定で使用する試薬類には、ヒト由来および / または潜在的に感染性のある物質が含まれている。詳細は、【形状・構造等（キットの構成）】または【用法・用量（操作方法）】を参照すること。ヒト由来物質または不活化微生物が完全に感染伝播しないことを保証する試験は知られていない。すべてのヒト由来物質は潜在的に感染性があると考えて、これらの試薬類、ヒト検体、潜在的感染性物質に汚染された消耗品は、OSHA Standard on Bloodborne Pathogens に従って取り扱うこと。感染性物質を含む物質、その疑いがある物質、感染性物質に汚染された物質については、バイオセーフティレベル 2 または国、地域、施設による他の適切なバイオセーフティ基準を使用すること 9-12。

・陰性コントロールに含まれるヒト由来物質は IgG 型トキソプラズマ抗体陰性、HBs 抗原陰性、HIV-1 RNA 陰性または HIV-1 抗原陰性、HIV-1/HIV-2 抗体陰性、HCV 抗体陰性である。

・試薬が誤って目や口に入った場合には水で十分に洗い流す等の応急措置を行い、必要があれば医師の手当て等を受けること。

・トリガーはアルカリ性溶液である。使用に際しては、試薬が直接皮膚に付着したり、目に入らないよう注意すること。

・本測定で使用する試薬類には、保存剤としてアジ化ナトリウムが含まれているものがある。詳細は、【形状・構造等（キットの構成）】または【用法・用量（操作方法）】を参照すること。酸との接触により非常に毒性の強いガスが発生する。取り扱う際は専用の着衣、眼鏡、マスク等を着用し、蒸気、飛沫を吸入しないこと。内容物および容器は適切な方法で廃棄すること。

※※ ・次の試薬類に関する危険有害性情報、注意事項を示す。

- ・マイクロパーティクル

|                                                                                                                                                                        |                                       |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------|
|   |                                       |
| 警告                                                                                                                                                                     | メチルイソシアゾロン、ポリエチレングリコールオクチルフェニルエーテルを含む |
| H317                                                                                                                                                                   | アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ                     |
| H401 ※                                                                                                                                                                 | 水生生物に毒性                               |
| H411                                                                                                                                                                   | 長期継続的影響により水生生物に毒性                     |
| 安全対策                                                                                                                                                                   |                                       |
| P261                                                                                                                                                                   | ミスト / 蒸気 / スプレーの吸入を避けること。             |
| P272                                                                                                                                                                   | 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。                 |
| P280                                                                                                                                                                   | 保護手袋 / 保護衣 / 保護眼鏡を着用すること。             |
| P273                                                                                                                                                                   | 環境への放出を避けること。                         |
| 応急措置                                                                                                                                                                   |                                       |
| P302+P352                                                                                                                                                              | 皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。                  |
| P333+P313                                                                                                                                                              | 皮膚刺激または発疹が生じた場合：医師の診察 / 手当てを受けること。    |
| P362+P364                                                                                                                                                              | 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。          |
| P391                                                                                                                                                                   | 漏出物を回収すること。                           |
| 廃棄                                                                                                                                                                     |                                       |
| P501                                                                                                                                                                   | 内容物 / 容器を適切な方法で廃棄すること。                |

※ EC 1272/2008（CLP）を適用する場合は該当しない。

※※ ・次の試薬類に関する危険有害性情報、注意事項を示す。

- ・コンジュゲート

|                            |                   |
|----------------------------|-------------------|
| ポリエチレングリコールオクチルフェニルエーテルを含む |                   |
| H402 ※                     | 水生生物に有害           |
| H412                       | 長期継続的影響により水生生物に有害 |

|      |                        |
|------|------------------------|
| 安全対策 |                        |
| P273 | 環境への放出を避けること。          |
| 廃棄   |                        |
| P501 | 内容物 / 容器を適切な方法で廃棄すること。 |

※ EC 1272/2008（CLP）を適用する場合は該当しない。

※※ ・次の試薬類に関する危険有害性情報、注意事項を示す。

- ・検体希釈液
- ・キャリブレーション
- ・陽性コントロール

|                                                                                   |                                    |
|-----------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------|
|  |                                    |
| 警告                                                                                | メチルイソシアゾロンを含む                      |
| H317                                                                              | アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ                  |
| H402 ※                                                                            | 水生生物に有害                            |
| H412                                                                              | 長期継続的影響により水生生物に有害                  |
| 安全対策                                                                              |                                    |
| P261                                                                              | ミスト / 蒸気 / スプレーの吸入を避けること。          |
| P272                                                                              | 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。              |
| P273                                                                              | 環境への放出を避けること。                      |
| P280                                                                              | 保護手袋 / 保護衣 / 保護眼鏡を着用すること。          |
| 応急措置                                                                              |                                    |
| P302+P352                                                                         | 皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。               |
| P333+P313                                                                         | 皮膚刺激または発疹が生じた場合：医師の診察 / 手当てを受けること。 |
| P362+P364                                                                         | 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。       |
| 廃棄                                                                                |                                    |
| P501                                                                              | 内容物 / 容器を適切な方法で廃棄すること。             |

※ EC 1272/2008（CLP）を適用する場合は該当しない。

※※ ・次の試薬類に関する危険有害性情報、注意事項を示す。

- ・陰性コントロール

|                                                                                     |                                    |
|-------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------|
|  |                                    |
| 警告                                                                                  | メチルイソシアゾロン、アジ化ナトリウムを含む             |
| H317                                                                                | アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ                  |
| EUH032                                                                              | 酸との接触により非常に毒性の強いガスが発生する。           |
| 安全対策                                                                                |                                    |
| P261                                                                                | ミスト / 蒸気 / スプレーの吸入を避けること。          |
| P272                                                                                | 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。              |
| P280                                                                                | 保護手袋 / 保護衣 / 保護眼鏡を着用すること。          |
| 応急措置                                                                                |                                    |
| P302+P352                                                                           | 皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。               |
| P333+P313                                                                           | 皮膚刺激または発疹が生じた場合：医師の診察 / 手当てを受けること。 |
| P362+P364                                                                           | 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。       |
| 廃棄                                                                                  |                                    |
| P501                                                                                | 内容物 / 容器を適切な方法で廃棄すること。             |

※※ ・廃棄方法については（3）**廃棄上の注意** を参照すること。また、安全データシート（SDS）がある場合はそちらも併せて参照すること。

- ・安全データシート（SDS）については、カスタマーサポートセンターにお問い合わせください。
- ・機器操作中の安全上の注意の詳細については、使用する機器の取扱説明書を参照すること。

#### （2）使用上の注意

- ・使用期限を過ぎた試薬類を使用しないこと。
- ・キット内または異なるキットの試薬を混ぜて使用しないこと。
- ・同一のロット番号の試薬であっても試薬を注ぎ足すことはしないこと。
- ・機器にマイクロパーティクルを初めてセットする場合は、輸送中に沈殿している可能性のある粒子をあらかじめ再懸濁する必要がある。マイクロパーティクルの混和法については、【用法・用量（操作方法）】（3）**測定（操作）法**を参照すること。
- ・試薬ボトル用中蓋は、試薬の蒸発濃縮と汚染を避け、試薬の劣化を防ぐため必ず使用すること。中蓋を本書の指示通りに使用しなかった場合、測定結果の信頼性は保証できない。
- ・汚染を避けるために、試薬ボトルに中蓋を取り付けるときは、清潔な手袋を着用して行うこと。

- ・キャップを取った試薬ボトルに中蓋を取り付けた後は、**ボトルを反転させないこと**。試薬が漏出し、測定結果の信頼性が損なわれる。
- ・時間が経つと、試薬が中蓋表面で乾燥し析出することがあるが、測定には影響しない。
- ・コンジュゲートに IgG 型ヒト抗体が混入した場合コンジュゲートが中和されてしまうため、コンジュゲートボトルを取り扱う際には、ヒト血清またはヒト血漿に触れた手袋は交換すること。
- ・機器操作中の取扱い上の注意の詳細については、使用する機器の取扱説明書を参照すること。
- ・試薬の保存条件を次に示す。  
試薬は指示に従い保存し取り扱った場合、使用期限まで安定である。

|            | 保存温度    | 最長保存期間 | 保存上の注意事項                                                            |
|------------|---------|--------|---------------------------------------------------------------------|
| 未開封 / 開封後※ | 2～8℃    | 使用期限まで | 2～8℃の保存場所から取り出した後、すぐに使用可能である。<br>立てたまま保存すること。                       |
| 機器上        | 機器の設定温度 | 30 日間  | 30 日間を過ぎた場合は廃棄すること。<br>機器内における保存期間のトラッキングについては、使用する機器の取扱説明書を参照すること。 |

※ 試薬は機器に設置したまま保存するか、あるいは機器から取り出して保存する。試薬を機器から取り出したときは、(試薬ボトル用中蓋および試薬ボトル用キャップを取り付けた状態で) 立てたまま 2～8℃で保存すること。機器から取り出して保存する試薬は、立てた状態を保つため、もとのボックスおよびトレイ中で保存することを推奨する。**機器から取り出したマイクロパーティクルボトルが、2～8℃の保存場所で立てた状態で保存されなかった場合（中蓋を取り付けた状態で）、この試薬キットは廃棄すること。**試薬キットを機器から取り出す方法については、使用する機器の取扱説明書を参照すること。

- ・キャリブレータ、コントロールは、指示に従い保存し取り扱った場合、使用期限まで安定である。
- ・キャリブレータ、コントロールは、2～8℃で保存すること。
- ・キャリブレータ、コントロールは、2～8℃の保存場所から取り出した後、すぐに使用可能である。使用前に穏やかに転倒混和すること。使用後は蓋を固く閉め、2～8℃で保存すること。
- ※ 沈殿、液漏れの跡、濁り、キャリブレーションが規格を満たさない、コントロールが管理範囲を外れるなどの現象が認められる場合は、キャリブレータやコントロールが劣化している可能性がある。

### (3) 廃棄上の注意

- ・検体中には HIV、HBV、HCV 等の感染性のものが存在する恐れがあるので、廃液、使用済み器具などは次亜塩素酸ナトリウム（有効塩素濃度 1000 ppm、1 時間以上浸漬）またはグルタルアルデヒド（2%、1 時間以上浸漬）による消毒処理、あるいはオートクレーブ（121℃、20 分以上）による滅菌処理を行うこと。
- ・試薬および器具等を廃棄する場合には、廃棄物の処理および清掃に関する法律、水質汚濁防止法等の規定に従って処理すること。
- ・試薬類や検体が飛散した場合には、飛散した溶液を吸収剤で吸収し、飛散した場所を洗浄液で拭き取った後、さらに 0.1%次亜塩素酸ナトリウム溶液などの適切な消毒剤で拭き取ること。作業は適切な保護用具（手袋、安全眼鏡、実験衣など）を着用して行うこと。
- ・本測定で使用する試薬類には、保存剤としてアジ化ナトリウムが含まれているものがある。詳細は、【形状・構造等（キットの構成）】または【用法・用量（操作方法）】を参照すること。アジ化ナトリウムは、鉛管、銅管と反応して爆発性の金属アジドを生成することがあるので、廃棄する場合には、大量の水と共に流すこと。安全な廃棄方法の詳細については、使用する機器の取扱説明書を参照すること。

### 【貯蔵方法、有効期間】

|                | 貯蔵方法                    | 有効期間  |
|----------------|-------------------------|-------|
| 試薬キット          | 2～8℃                    | 12 箇月 |
| プレトリガー<br>トリガー | プレトリガーの電子添文、トリガーの外装表示参照 |       |

使用期限は、外装に表示されている。

### 【包装単位】

- 試薬キット 製品番号 6C19-26：100 回用
  - ・マイクロパーティクル 6.6 mL × 1
  - ・コンジュゲート 5.9 mL × 1
  - ・検体希釈液 10.0 mL × 1
- 試薬キット 製品番号 6C19-36：500 回用
  - ・マイクロパーティクル 27.0 mL × 1
  - ・コンジュゲート 26.3 mL × 1
  - ・検体希釈液 50.9 mL × 1
- プレトリガー※ 製品番号 6E23： 975 mL × 4
- トリガー※ 製品番号 6C55： 975 mL × 4

※ ARCHITECT アナライザー用をご使用ください。別売りのため弊社にお問い合わせください。

使用する機器により、セットできる試薬キットが限定される場合があります。詳細は、弊社にお問い合わせください。

### 【主要文献】

- ※ 1. ISO/BIPM Guide to the Expression of Uncertainty in Measurement (GUM), 2008. [www.bipm.org/en/publications/guides/gum.html](http://www.bipm.org/en/publications/guides/gum.html).
- ※ 2. Ellison SLR, Williams A, eds. Eurachem/CITAC Guide: Quantifying Uncertainty in Analytical Measurement, 3rd edition, 2012. ISBN 978-0-948926-30-3. [www.eurachem.org](http://www.eurachem.org).
- 3. Boscato LM, Stuart MC. Heterophilic antibodies: a problem for all immunoassays. *Clin Chem* 1988;34(1):27-33.
- 4. Primus FJ, Kelley EA, Hansen HJ, et al. “Sandwich”-type immunoassay of carcinoembryonic antigen in patients receiving murine monoclonal antibodies for diagnosis and therapy. *Clin Chem* 1988;34(2):261-264.
- 5. Schroff RW, Foon KA, Beatty SM, et al. Human anti-murine immunoglobulin responses in patients receiving monoclonal antibody therapy. *Cancer Res* 1985;45(2):879-885.
- 6. Rigsby et al. 2004. Evaluation of a Candidate International Standard Preparation for Human Anti-Toxoplasma Immunoglobulin G. *J. Clin. Microbiol.* 42, No. 11:5133-5138.
- ※ 7. Clinical and Laboratory Standards Institute (CLSI). *Evaluation of Precision of Quantitative Measurement Procedures: Approved Guideline—Third Edition*. CLSI Document EP05-A3. Wayne, PA: CLSI; 2014.
- ※ 8. Clinical and Laboratory Standards Institute (CLSI). *Evaluation of Detection Capability for Clinical Laboratory Measurement Procedures; Approved Guideline—Second Edition*. CLSI Document EP17-A2. Wayne, PA: CLSI; 2012.
- 9. US Department of Labor, Occupational Safety and Health Administration, 29 CFR Part 1910.1030, Bloodborne pathogens.
- ※ 10. US Department of Health and Human Services. *Biosafety in Microbiological and Biomedical Laboratories*. 6th ed. Washington, DC: US Government Printing Office; June 2020.
- ※ 11. World Health Organization. *Laboratory Biosafety Manual*. 4th ed. Geneva: World Health Organization; 2020.
- ※ 12. Clinical and Laboratory Standards Institute (CLSI). *Protection of Laboratory Workers From Occupationally Acquired Infections; Approved Guideline—Fourth Edition*. CLSI Document M29-A4. Wayne, PA: CLSI; 2014.
- ※ 数字の表記について：
  - ・3桁ごとの区切りに空白を入れている（例：10 000 検体）。
  - ・小数点にはピリオドを使用している（例：3.12%）。
- ※ 以下の米国特許は、ARCHITECT アナライザーまたはそのコンポーネントに関するものです。下記以外にも、同様の特許や特許出願が米国およびその他の国にあります。

|           |           |           |
|-----------|-----------|-----------|
| 5 468 646 | 5 543 524 | 5 545 739 |
| 5 565 570 | 5 669 819 | 5 783 699 |

すべての商標の所有権は、各商標の所有者に帰属します。

### 【問い合わせ先】

アボットジャパン合同会社  
カスタマーサポートセンター  
〒270-2214 千葉県松戸市松飛台 278  
TEL 0120-031441

### 【製造販売業者の名称及び住所】

アボットジャパン合同会社  
〒270-2214 千葉県松戸市松飛台 278  
TEL 047 (385) 2211 (代表)  
©ABBOTT JAPAN LLC 2025